



イベント

自分自身が福袋に!? ユニーク企画で古着屋ファンの獲得へ



イベントでは、10枚前後の古着をゲットした人が多く、最高記録は35枚。最高記録は、リピーターで3度目のチャレンジで同記録を達成した。

リサイクル古着店「ドンドンダウン オン ウェンズデイ」は、若者に支持を受ける古着ショップHanjiroとコラボレーションした新店「Hanjiro × Don Don Down on Wednesday原宿店」のオープンを記念し、「あなた自身が福袋になる“リアル福袋人間イベント”[年末 福(服)ぶくれ]を実施した。期間はオープン日である2012年12月23日から13年1月3日まで。イベントは、888円で参加可能。制限時間8分以内に、自分の気に入った古着を重ね着していき、着た分だけ持ち帰れるというものだ。

イベントの実施に向けては、コンセプトである「お祭り気分」や「楽しいリサイクル古着屋」というイメージを、ターゲッ

トである10~20代の男女にアピールできる内容を検討したという。リサイクルショップの強みである低価格で質の高い商品を提供するだけでなく、ユニークな企画を実施することで、ブランドの新たなファンの獲得を目指した。

「原宿店はグループのフラッグシップショップという位置づけであることや、オープン時期が年末年始のセール時期に重なることなどから、同エリアの名だたる店舗に負けない、インパクトあるイベントを考えました。また、話題性のある企画にすることで、SNSなどでの拡散や、メディアでの露出のチャンスも狙いました」とDon Don Up営業戦略本部 広報部 小野寺夕貴氏は話す。

期間中は、リピーターも含めて463人が利用しており、約5000点のアイテムが販売された。参加者に選ぶ楽しさを感じてもらうため、アイテムは反響や人気商品の動きを見ながら、随時追加していった。

同社は、12年12月1日にHanjiroを運営する光商事の株式を取得し、今後は新商品開発や共同販促を行っていく。ドンドンダウンの集客力と、Hanjiroの商品力とブランドネームによってシナジー効果を生むような企画を考えていく構えだ。新たなリサイクル古着店として、「リサイクル古着は、オシャレで楽しい」というイメージをけん引していくことを目指している。

実施期間▶2012年12月23日~13年1月3日 | 実施場所▶Hanjiro × Don Don Down on Wednesday原宿店 | 目的▶ブランドのファンの新規獲得 | ターゲット▶10~20代の男女 | 告知メディア▶ウェブサイト、近郊グループ店舗のブログ、ファッション雑誌